



南西小だより

令和5(2023)年度
南阿蘇村立
南阿蘇西小学校
学校だよりNo.13号
R6.3.14(木)
文責 佐藤 和也

いよいよ来週は卒業式・修了式です。卒業式は久しぶりに全校児童が集まって行きます。現在、全体練習が始まりましたが、みんな立派な態度で練習を行っています。1年生から5年生は、6年生に感謝の気持ちを伝えようと、6年生は感謝の気持ちと下級生のよいモデルになるようにと、しっかり取り組んでいます。毎日どんどん上手になっています。きっと素晴らしい卒業式になると思います。



今週月曜日の練習の様子です。初日とは思えないほどよくできました。



全校集会で使ったスライドの一部です。

◎その気持ちをカタチに

先週7日の最後の全校集会で、次のような話をしました。(一部略)【リモート全校集会 「行為の意味」】

〇心に残っているととても大好きな広告の動画を見せました。今から13年前の東日本大震災のあとに流れていたテレビコマーシャルです。(ACJAPANの広告)

〇動画では、電車の中で席を譲る行為、階段でおばあさんに手をかす行為が紹介されます。そのときに動画と一緒に流れるフレーズが下の言葉です。動画を見た後に以下のような話をしました。(右のスライドも参考にしてください)

「こころ」は だれにもみえないけれど 「こころづかい」は見える
「思い」は 見えないけれど 「思いやり」は だれにでも見える
その気持ちをカタチに

〇この詩の原文を紹介しました。(宮澤章二さんの詩)

あなたの「こころ」はどんな形ですか？と、ひとに聞かれても答えようがない。自分にも他人にも「こころ」は見えないけれど、ほんとうに見えないのであろうか。確かに「こころ」はだれにも見えない。けれど「こころづかい」は見えるのだ。それは人に対する積極的な行為だから。同じように胸の中の「思い」は見えない。けれど「思いやり」はだれにでも見える。それも人に対する積極的な行為なのだから。あたたかい心が、あたたかい行為になり やさしい思いが、やさしい行為となるとき 「心」も「思い」も、初めて美しく生きる。それは、人が人として生きることだ。

〇心は、いつも見えている心ではありません。しかし、ちょっとした行動、行為をするだけで、心づかいや思いやりが見え、相手に伝わります。

〇『こころ』を『こころづかい』に 『思い』を『思いやり』に この言葉を忘れずに、みなさんが行動することができれば、南西小も、もっともっと笑顔あふれる、温かく優しい学校になると思います。まずは、感じる心、気づく心を働かせ、気づき、勇気を持って行動しましょう。行動の姿、思いやりや心づかいがたくさん南西小にしましょう。

「こころ」を「こころづかい」に
「思い」を「思いやり」に

詩人
宮澤章二さん
「行為の意味」

あたたかくやさしいこころ いつもは見えない

でも、ちょっとした行動(行為)でこころづかいが見える

ことばをかけるそばによりそう ニコッとほほえむ 思いは思いやりに

そっと手をかす だまってそばによりそう 小さな行動・行為

あたたかくやさしいこころづかいが 伝わる行動の姿

『こころ』は見えないけれど 『こころづかい』は見える 『思い』は見えないけれど 『思いやり』は見える

『こころ』を『こころづかい』に 『思い』を『思いやり』に

笑顔かがやく南西小

感じる心 気づく心

勇気行動

思いやりや心遣いだけでなく、気持ちをカタチ(行動や態度)にしていきたいですね。